しまねの土地改良だより

2016年(平成28年)
1月1日発行(第58号)
水土里ネット島根

“闘う土地改良”の先頭に立って

全国水土里ネット会長会議
顧顧　　進藤　かねひこ

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、昨春、全国水土里ネット会長に就任された二階俊博先生が提唱された「闘う土地改良」に込められた真義に感銘し、また触発され、政治活動の途を志す決意を固め、昭和61年に入省以来、29年間勤めてきた農林水産省を昨年の6月、中山間地域振興課長を最後に辞職しました。

その後、7月29日に全国水土里ネット会長会議顧問を仰せつかり、全国各地を回り、その実情を聞かせて頂きました。その中で、我が国の国土には人間の体でいうと動脈と静脈にあたる農業用水路・排水路が隅々まで張り巡らされ、肉体にあたる450万haの農地と一体になって国民の食料を支えており、多面的機能の適切な発揮を通じて、まさに日本の国土を支えていることを改めて実感した次第です。

そして、様々な課題も聞かせて頂きました。農業・農村の現場で聞く声は本当に切実で、心に響きました。過去・現在・将来とも国民の食料を支える農地と水、それを可能としている土地改良は「日本の命綱」でありますが、その命綱が切れそうになっていることに強い危機感を禁じ得ません。

私は、全国水土里ネット会長会議に報告した内容を私に課せられた５つの使命として承り、その使命を果たすため全身全霊で取り組んでまいります。

1. 土地改良の予算確保に全力
2. 日本型直接支払制度の充実に全力
3. 災害に強い農山漁村づくりに全力
4. 自然豊かな美しい農山漁村の継承に全力
5. 農業と農山漁村への国民の理解に全力

この「５つの全力」を通じて、「安全で安心な食」、「大切な農地と水」、「美しい農山漁村」、この３つを守り抜くことを約束します。

最後に、今年は、土地改良にとって剣ヶ峰と言ってよい程の大きな節目の年となります。私は、幅広い国民の皆さんのご理解と土地改良に関わる私たちの結束を源泉として、「闘う土地改良」の先頭に立って全力疾走することを改めてお誓いします。

本年が皆様お一人おひとりにとって良き年となることを祈念し、私の年頭のご挨拶と致します。

■ “闘う土地改良”の先頭に立って ………… 1
■ 「農業農村整備の集い＝農を守り、地方を創る予算の確保に向けて＝」を開催 ………… 2
■ 多面的機能支払交付金「平成２７年度事務実務研修会」を開催 ………… 3
■ 多面的機能支払交付金 実施状況報告書等作成支援ソフトウエアのご紹介 ………… 3
■ 県土連･第58回通常総会等開催日程 ………… 4
■ 今月の主な予定 ………… 4

■ 「農業農村整備の集い＝農を守り、地方を創る予算の確保に向けて＝」を開催

農業農村整備の集いの様子

全国水土里ネットと都道府県水土里ネットの共催による「農業農村整備の集い」が11月27日午後1時30分から東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」で開催され、農林水産省から森山裕農林水産大臣をはじめ末松広行農村振興局長外幹部職員、全国の土地改良関係者など総勢800名が参集しました。また稲田朋美自由民主党政務調査会長外多数の国会議員の方も駆けつけました。

始めに主催者を代表して二階俊博全土連会長から「闘う土地改良」への理解と協力について挨拶があり、引き続き森山農林水産大臣からは「農業農村整備は国土強靭化、地方創生といった現下の課題に取り組んでいく上で重要な役割を有している。農業を成長産業化するための産業政策と活力ある農村を守っていくための地域政策を車の両輪としてしっかり進める」と祝辞を述べられました。その後京都大学大学院の浅野教授から基調報告、また末松局長から「総合的なＴＰＰ関連政策大綱」についての緊急報告があり、最後に本会の長﨑専務理事が要請文を朗読され、全会一致で採択されました。

要　請　書

1　安定的・計画的な事業執行のために、平成２８年度当初予算においては、平成２２年度に大幅削減された土地改良関係予算の復活に向け、地域の要望を十分に満たす予算額を確保すること。

2　ＴＰＰ交渉の大筋合意結果を踏まえ、将来にわたって意欲ある農業者が希望を持って経営に取り組めるよう、万全な国内対策を積極的に講じること。
　さらに、今年度においても、事業執行を加速化するため、十分な規模の補正予算を確保すること。

3　食料自給力の向上と担い手への農地集積を加速化し、コスト低減や高品質な農作物の生産など強い農業の展開を可能とするため、水田の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を着実に推進すること。その際、中山間地域等の地域特性を踏まえた基盤の再整備により農業経営の展開が可能となるよう十分配慮すること。

4　東日本大震災をはじめとする災害からの復旧・復興を加速度的に進めるとともに、農村地域の強靭化に資するよう、ため池を含む老朽化した農業水利施設の長寿命化と耐震化、洪水被害防止等の防災・減災対策を、国が責任を持って着実に推進すること。

5　多面的機能支払制度の推進に当たっては、国において、十分な予算確保に加え、地域協議会や土地改良区がこれまで培った技術、経験などを十分発揮できるよう、都道府県を指導すること。

6　農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減に資するため、小水力発電等を推進すること。

7　組合員に対する賦課金が高騰する一方で、担い手への農地集積等に対応した高度な水管理等が行えるよう、土地改良区の運営基盤の強化を図ること。

■ 多面的機能支払交付金「平成２７年度事務実務研修会」を開催

＝島根県農地・水・環境保全協議会＝

多面的機能支払交付金に取り組まれる活動組織を対象に「平成２７年度事務実務研修会」を１２月２１日（益田会場）、２２日（大田会場）、２４日（松江会場、雲南会場）で開催し、県内約２９０組織から４１０名の参加がありました。

この研修会は、各活動組織で事務を担当されている方を中心に、多面的機能支払交付金での事務を適正かつ円滑に処理していただくようにと開催したものです。

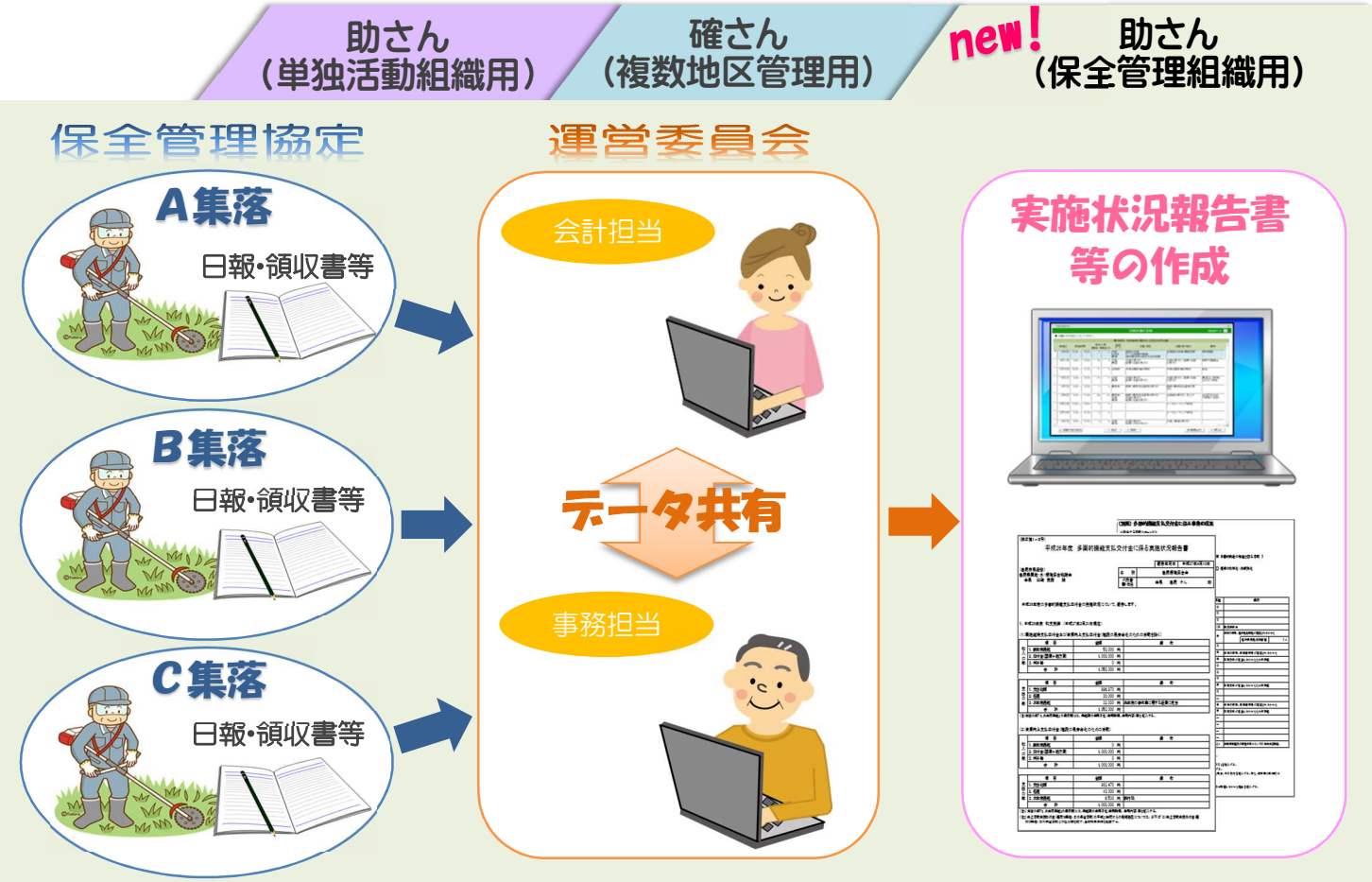
平成２７年度の活動や会計を市町村へ報告する「実施状況報告書」を作成する上での、書類の書き方や注意点を活動組織の方に分かりやすく説明しています。

なお、隠岐会場では１月２０日に開催する予定です。

■ 多面的機能支払交付金 実施状況報告書等作成支援ソフトウエア「助さん（保全管理組織対応版）」のご紹介

水土里ネット島根では、これまでの「助さん」「確さん」に加え、新たに複数の集落で構成する保全管理協定組織の集落毎の活動や金銭の管理が可能となる「助さん（保全管理組織対応版）」をリリースしました。実施状況報告書の作成など繁雑な事務の効率化をお手伝いします。

なお、中山間地域等直接支払制度用のソフトウエアもありますので詳しくは担当までご連絡ください。



お問い合わせは、「助さん」「確さん」については水土里推進グループ資源保全担当、
中山間地域等直接支払制度用ソフトウエアについては水土里推進グループ水土里情報センターまで

県土連・第58回通常総会等開催予定
日程変更のお知らせ

開　催　日　　平成28年2月2日（火）総会午後1時開催
開催場所　　島根県土地改良会館　１階　会議室

以前よりご案内をしておりました県土連第58回通常総会及び同日開催の会議等の日程が変更となりましたので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。

■島根県農地・水・環境保全協議会「平成27年度理事会」（午前10時30分から）
■島根県農地・水・環境保全協議会「平成27年度通常総会」（午前11時から）
■島根県農業農村整備推進協議会「平成27年度総会」（午前11時40分から）
■平成27年度土地改良功労者表彰式及び島根県土連第58回通常総会（午後１時から）
■平成28年度農業農村整備事業関係予算概算決定に関する説明会（仮）（午後３時から）

正式文書は後日発送させていただきます。

■ 今月の主な予定

開催日	内　　容	開催地
1月15日（金）	平成27年度第3回役員会	県土連
1月15日（金）	平成27年度第2回監事会、定期監査	県土連
1月18日（月）	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京
1月23日（土）～24日（日）	島根ふるさとフェア２０１６	広島市（県立総合体育館）
1月27日（水）	島根県農業集落排水事業担当者会議	県土連
1月28日（木）	農家負担金軽減支援対策事業担当者会議	東京

水土里ネット島根　（島根県土地改良事業団体連合会）
〒690-0876　島根県松江市黒田町432-1　島根県土地改良会館　TEL 0852-32-4141
ホームページhttp://www.shimanedoren.or.jp/　メールsmndoren@shimanedoren.or.jp